

## 全国高等学校総合体育大会 成田市では 3競技に熱戦

8月1日から20日にかけて千葉県で開催された全国高等学校総合体育大会「2005千葉きらめき総体」。市内ではソフトボール、柔道、卓球の3競技が行われ、全国から選ばれた高校生たちにより熱戦が展開されました。期間中は市内や近隣地域から選手以外的高校生が「一人一役」で競技の運営に参加し、大会を盛り上げました。また、千葉市で行われた陸上競技・男子学校対抗で成田高校が見事7度目の優勝を飾りました。



女子ソフトボールでは市長が始球式(大谷津球場)



期間中館内から大声援が続いた卓球競技(成田市体育館)

酷暑の中で熱戦が繰り広げられたソフトボール競技(大谷津球場)

雷雨でテントに取り残された審判員(大谷津運動公園多目的広場)



選手の飲み物を運ぶ「一人一役」の高校生

将来のオリンピック選手たちの熱闘に沸いた柔道競技(成田市体育館)

「成田」ナンバー新設決定  
導入は2006年度中から



新設決定を喜ぶ小林市長

成田市を含めた空港圏周辺10市町村(成田市、富里市、下総町、大栄町、多古町、松尾町、横芝町、芝山町、蓮沼村)で国に要望していた「ご当地」ナンバーの新設について、7月29日、国土交通省は「成田」「柏」「会津」など全国18のナンバー導入の方針を正式発表しました。成田空港周辺市町村のイメージアップ、観光振興や発展に大きく貢献するものと期待が寄せられています。導入は2006年度中の見通しです。

「北総地区少年センター」  
オープン  
少年を非行や  
犯罪から守ります

8月1日、JR成田駅西口の市防犯事務所内に「北総地区少年センター」が新たにオープンしました。少年を非行や犯罪から守るため、千葉県警察本部が県下4番目のセンターとして開設したもので数人の補導員警察官が常駐。街頭補導などのほか未成年や保護者からの悩み事相談も行うなど、安全・安心なまちへ新たな拠点が誕生しました。



少年センターで行われた開所式

普通救命講習会  
市職員全員で救命技術を普及

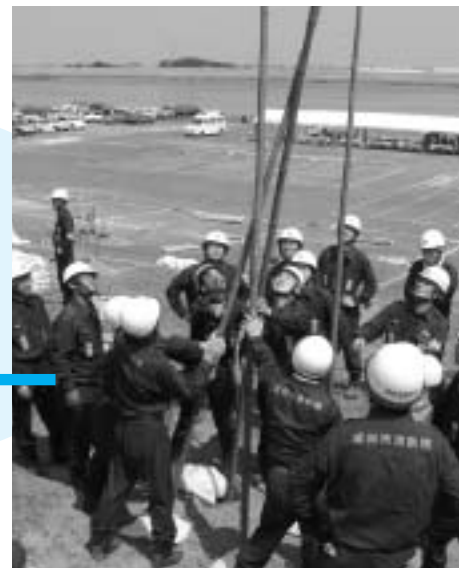


救命技術を学ぶ市職員

救命技術を市民に広めるにはまず市の職員からと、7月25日、成田市役所で職員を対象にした普通救命講習会が行われました。講習会では、昨年からは一般の人でも使えるようになった自動体外式除細動器(AED)の操作方法も習得。3年間で、市議会議員を含む全職員が受講する予定です。

水防訓練  
利根川堤防で水防工法習得に汗

猛暑となった8月6日、安西地先の利根川堤防で市の水防訓練が実施されました。「利根川の水位が危険域に上昇」との想定で行われた訓練には、水防団など関係団体から255人が参加。団員たちは、工法指導員から説明を受けながらさまざまな水防工法に取り組んでいました。



五徳縫い工法を行う水防団